

2018年1月9日

ジャカルタ ジャパン クラブ
会員各位

ジャカルタ ジャパン クラブ
海外邦人安全対策連絡協議会

1 小野総括公使

年末年始は、アグン山の噴火や大規模テロ等が発生する不安もあったが、大規模な対応を要するようなことはなく安堵している。一方、一般犯罪等は絶えない。今後も、本協議会等の機会を活用しながら連絡を取り合い、邦人の方の安全確保に努めたい。また、今年は日本インドネシア国交樹立60周年の年となる。今月19日、20日には開会行事を予定している。本協議会の趣旨とは異なるものの、皆様には今後色々な面でお世話になるため、引き続きよろしくお願ひ申し上げる。

2 最近の政治・治安情勢

年末年始の治安情勢は比較的落ち着いた。マカッサルの警察署に火焰瓶が投げ込まれる事件や、フィリピン南部のマラウィへインドネシア人の渡航を斡旋していた者が逮捕された事件等があったものの、大規模な事件やテロの発生はなかった。しかし、2016年1月にジャカルタ中心部で発生した爆弾テロは、年末年始の警戒体制が終わり、気が緩んだ頃に発生したため、今年も引き続き注意が必要である。

また、本年6月には統一地方首長選挙実施が予定されている。この選挙は、2019年の大統領選に向けて政治的に重要なプロセスとなる。2015年から2016年にかけて、州知事選挙をめぐるデモが発生したのと同様に、今後もデモや大規模集会が発生するおそれがある。デモ等についての情報は、大使館からのお知らせメールで適宜共有する。

3 邦人にかかわる最近の事件・事故報告

前回の協議会から本日までに、邦人にかかわる事件・事故が4件あった。

(1) 12月22日午後1時頃、北ジャカルタのパンタイ・インダ・カプック(P I K)の飲食店で置き引き事件があった。邦人が飲食中に、座席後方に置いてあった鞆が盗まれた。盗まれた鞆には、現金、パスポート、K I T A S、携帯電話等が入っていた。

(2) 12月11日午後9時頃、中央インドネシアのショッピングモール内のレストランで置き引き事件があった。邦人が飲食中、トイレに行くため席を立った際に、椅子の下に置いてあった鞆が盗まれた。

(3) 12月23日午前10時頃、スディルマン通りのブンカルノ競技場近くの歩道橋でスリ事件があった。邦人が、歩道橋のスロープを登り始めたところ、男女5、6人が通路をふさぐように目の前をゆっくり歩いていた。数歩登ったところで突然後ろから1人の男に左足首をつかまれたため、持っていたゴルフバッグでその男をたたき、F Xモールへ走って逃げた。その

後、F Xモール手前でズボンの右前ポケットに入れていた携帯電話がなくなっていることに気づいた。なお、犯行時には近くにミニバスが停まっており、運転手も共犯であった可能性が高い。

(4) 12月中旬、ジャカルタ市内の医療機関において、邦人がベッドに横たわって治療行為を受けている際に、持参していた鞆を付近の棚に置いていたところ、鞆の中から現金が盗まれた。防犯カメラを確認したところ、同医療機関に所属する看護師が鞆の前で不審な動きをしていたことが判明。同看護師は否認している。

持ち物からは常に目を離さないようご注意ください。また、路上でのスリ・強盗については、12月28日に、ジャカルタ警視庁がスリグループに所属する6名を逮捕との報道があった。犯人は20代～50代のインドネシア人で、カーフリーデーの日に、ホテル・インドネシア前のロータリー、JCCスナヤン、J Iエキスポ、モナス、スディルマン通りをターゲットにしていた。証言によると、コパジャ（ミニバス）を使って犯行に及んでいた。逮捕されたグループ以外にもスリグループは多数いるため、今後も捜査を続ける予定。

4 報告及び連絡

J J Cと大使館との共著である海外生活安全マニュアル「インドネシアで安全に暮らすために」について、J J Cを通じて皆様にドラフトを送付させていただいている。加筆修正があれば19日（金）までにご連絡願いたい。

5 最近の医療事情

(1) インフルエンザ

例年年明けに、年末年始休暇で帰国した邦人の感染によるインフルエンザの小流行が発生する。潜伏期間は約3日のため、今週いっぱいにはご注意願いたい。

(2) ジフテリア

ジフテリアのアウトブレイクについて問い合わせが複数あったが、日本では法令によりジフテリアの予防接種が義務づけられているため、邦人への感染については基本的に心配する必要はない。昨年のインドネシアでの感染者は約1000人、うち約50人が死亡したが、感染のほとんどは都市部ではなく地方だった。何らかの事情で予防接種を受けていない人がいれば、すぐに受けることをお勧めする。

6 質疑応答、各社（団体）からの報告

1) バイク盗難

昨年12月に、ブカシ県の工業団地にてバイクの盗難が2件あった。2件とも、工場の門が少し開いていたため、ゲートで制止することなく盗難にあつてしまい従業員のバイクが盗まれた。バイクのモデルはいずれもカワサキのニンジャだった。グループ企業や関連会社などに対して、ゲートや門は必ず閉めるよう注意喚起をしていただきたい。

2) バリ島でのスリ

昨年12月末にバリ島へ旅行した邦人夫妻が、ガイドとともにウブドの市場付近の駐車場を歩いていたところ、後ろを歩いていた邦人男性（夫）が周囲を4、5人に囲まれ、ウエストポーチから、身分証、現金、クレジットカードの入った財布を抜き取られた。気が動転して、その場で周囲に助けを求めることや、警察に届け出ることは出来なかった。犯人グループは、インドネシア人ではなく、韓国人のようだった。

バリ島住民は、観光業への悪影響をおそれて、スリや窃盗等には大変厳しく、時にはスリを行った人へ集団で暴行を加えることもあると聞く。バリ島でスリや窃盗被害に遭った際は、大声を出して周囲に助けを求めれば協力が得られる可能性が高い。

3) 第3ターミナルへの移転

スカルノハッタ空港に新設された第3ターミナルについて、日系航空会社（ANA、JAL）は移転するののかという問い合わせが複数あったが、今のところどちらも移転していない。何か動きがあれば適宜報告する。

4) VOA問題

スカルノハッタ空港職員による不正なVOA発給の問題に関しては、米国人に対して等、日本人以外に対する被害も何件か耳にした。本件について、各国の大使館・総領事館で情報共有できれば良いのではないかと。

5-1) 昨年10月下旬から11月上旬にかけて予定していた中学二年生の修学旅行を、アグン山噴火の影響により延期していたが、1月23日から25日にジョグジャカルタで実施することを決定した。保護者に対しては、明10日に実施する保護者説明会で報告する。

5-2) 今月の危機管理に関する行事として、以下の3件を予定している。

①1月12日（金）教師が生徒の下校バスに同乗する

②1月18日（木）避難訓練

大使館・警備会社と連携し、爆破予告を想定した非難訓練を行う。

③1月19日（金）緊急連絡訓練

電話連絡網と、スマートフォンのアプリ「スタディーサプリ連絡帳」を用いた緊急連絡訓練を行う。

6) 1月5日（金）20時30分過ぎに、クマン交差点付近のアンタサリ通りで渋滞により停車中、車内の後部座席で窓を十数センチ開けて喫煙していたところ、前方から歩いてきた若者が窓の隙間から手を入れて、手に持っていた携帯電話をひったくって立ち去った。犯人は渋滞に紛れてしまい、車外に出て追いかけることはできなかった。

7) 1月7日（日）午後3時頃、スディルマン通りのFXモールとラトゥ・プラザの間の歩道

を歩いていたら、40代位の男が「このめがねを落しましたか？」と話しかけてきた。怪しいと思いポケットを確認したところ、スマートフォンが無くなっていたため、男の腕をつかんで問いただしたところ、すぐ近くの屋台にいた50代位の男性からスマートフォンを返された。

以上